

作成年月日	平成26年8月25日
作成部局 課室名	産業労働部国際局 国際交流課

知事の海外出張概要（ロシア連邦（ハバロフスク地方・沿海地方））

本県とロシア・ハバロフスク地方は、1969年(昭和44年)に友好提携に関する協定を締結して以来、今年で45周年を迎えた。

この節目の年にあたり、両県地方の交流と相互理解を一層推進するため、兵庫県議会訪問団、経済ミッション団、兵庫県国際交流協会県民交流団等、全7団、約110名でハバロフスク地方を訪問した。

井戸知事も8月17日(日)から訪露予定であったが、大雨による災害対応のため期間を短縮し、8月19日(火)から21日(木)の日程でロシア連邦ハバロフスク地方を訪問。各訪問団と合流のうえ、友好提携45周年記念事業に参加した。

記念行事として、ハバロフスク地方政府知事との交流協議や共同声明調印式、記念レセプション等に参加し、また、ひょうご経済セミナーを開催し、経済交流の促進を図った。

1 ハバロフスク地方友好提携45周年記念行事関連

(1) 日程

月日	日程	備考
8月17日 (日)	出発 ウラジオストク着	ウラジオストク泊
8月18日 (月)	ひょうご経済セミナー、企業懇談会(日本センター) 現地企業視察(極東電力(ルースキー島)) ウラジオストク発	車中泊
8月19日 (火)	ハバロフスク着 プリアムールスキー動物園訪問 ※兵庫県寄贈のコウノトリ視察 少年少女交流団交流会(校外学習センター)	
	ニューリーダー研修修了者等との意見交換会	ハバロフスク泊
8月20日 (水)	ディナモ公園視察 青少年スポーツ交流団柔道競技親善試合 ひょうご経済セミナー、企業懇談会(日本センター) シュポルト知事との交流協議・共同声明調印式(地方政府公館) 記念レセプション	ハバロフスク泊
8月21日 (木)	日本人墓地墓参 ハバロフスク発 帰国	

※井戸知事は上記の内8/19(火)のニューリーダー研修修了者等との意見交換会から参加

(2) 参加訪問団 全7団、約110名

- ア 友好代表団
- イ 兵庫県議会日ロ友好訪問団
- ウ 経済ミッション団
- エ 県民交流団 (H I A)
- オ 少年少女交流団 (小5～中3生)
- カ 青少年スポーツ交流団 (高校生)
- キ 兵庫県町村会訪問団

(3) 兵庫県・ハバロフスク地方友好提携45周年記念事業の実施

ア シュポルト知事との交流協議・共同声明調印式

(ア) 日 時：平成26年8月20日(水) 16:00-17:00

(イ) 場 所：ハバロフスク地方政府公館

(ウ) 参加者：

(ハバロフスク地方側)

シュポルト知事、チュドフ地方議会議長、レビンタリ 第一副知事、
イワシキン副知事、チュプロフ スポーツ省大臣、ディアノフ知事府
副長官(6名)等 約10名

(兵庫県側) 井戸知事、松本県議会副議長他県議会議員団(11名)、

古谷稲美町長 ほか兵庫県町村会訪問団(7名)、

野口在ハバロフスク日本国総領事等

約30名

(エ) 会議内容：

4年ぶりにハバロフスク地方政府のシュポルト知事と面談し、これまでの45年に及ぶ両県地方の友好提携の成果を改めて確認するとともに、経済、人材育成、青少年交流など幅広い分野における今後の一層の交流推進について意見を交換した。

シュポルト知事から、これまでの45年間、世界に類のないコウノトリ増殖プロジェクトでの連携をはじめ、ニューリーダー事業や青少年スポーツ・少年少女交流などの多様なユニークな交流が着実に進み、両地域に信頼関係が築かれ、人々の生活の向上に繋がっている、今後は、特に木材加工、水産加工、農業分野またハバロフスクの新たな国際空港整備への投資など、経済面でのさらなる進展を希望する、とのあいさつがあった。

これに対し井戸知事は、これまでの交流の中で一番の成果は、未来の交流を支える青少年の交流である、と述べ、午前中、観戦した女子柔道団の交流について触れた。また、コウノトリの交流は、この増殖プロジェクトが両県地方のこれまでの交流の象徴である、今後は、ハバロフスク地方との経済交流が、日本海を囲む北東アジア地域の経済交流を先導するものとなる、と述べた。

昨年ハバロフスクを襲ったアムール川の氾濫による未曾有の洪水で、現在も住宅建設など復興の途にある状況の中、シュポルト知事から、2010年(平成22年)、兵庫県を訪問した際訪れた「人と防災未来センター」を思い出し、この大洪水の経験と記録を後世に残し、子どもの頃から緊急事態への備えができるよう、人と防災未来センターのような施設を作りたいので協力をお願いしたい、との申し出があった。井戸知事からは、兵庫県は来年1月、阪神・淡路大震災から20年を迎える。随分長い年月が流れたが、その経験を未来へ繋げていくことが大切である、人と防災未来センターの建築や運営ノウハウなどぜひ協力させていただく、と述べた。現在、9月までに全壊世帯に住宅を建設し、提供する追い込みの時期とのことであった。

また、様々な行政課題への意見交換の中、特に少子化対策について、シュポルト知事から興味深い施策展開が紹介された。日本の国土の2倍近い面積に、140万人の人口しか持たないハバロフスク地方にとって、人口を増やすことが最も重

要な課題であるため、健康と住宅に関し特筆すべき施策を展開している。健康については、禁煙措置の徹底に加えて、若い世代のウォッカなど強いアルコールの飲酒抑制を図るなど、健康総合政策を行っている。住宅に関しては、その世帯が抱える住宅ローンについて、2人目の子どもが生まれたらその半額を、3人目が生まれたらその全額を地方政府が負担するというものであった。



(交流協議の様子)



(記念撮影)

(オ) 共同声明調印 (共同声明 別添1)

意見交換に続いて、松本兵庫県議会副議長、チュドフハバロフスク地方議会議長の立ち会いのもと、両知事による「兵庫県・ハバロフスク地方友好提携45周年記念共同声明」の調印が行われた。

この共同声明調印式には、兵庫県議会日ロ友好訪問団のほか、県民交流団の代表、さらには5町長が参加した兵庫県町村会にも立ち会っていただいた。



(共同声明に調印する井戸知事)



(共同声明調印式の様子)

(カ) 兵庫県功労者表彰

またこの機会に、本県との友好交流に多大な貢献をされたシュポルト知事に、県民を代表して、井戸知事より兵庫県功労者表彰が授与された。



(県功労者表彰の贈呈)



(シュポルト知事との記念撮影)

イ 兵庫県・ハバロフスク地方友好提携45周年記念式典

(ア) 日 時：平成26年8月20日(水) 19:00-20:30

(イ) 場 所：インツーリストホテル

- (ウ) 参加者：イワシキン副知事 ほか約35名
井戸知事、松本副議長をはじめとする友好訪問団 約85名

(エ) 内 容：

ハバロフスク地方関係者及び兵庫県からの訪問団約85名が合流し、総勢120名の参加のもと兵庫県・ハバロフスク地方友好提携45周年記念式典が開催された。

記念式典では、急遽公務のため欠席したシュポルト知事の代理としてイワシキン副知事と井戸知事双方より祝辞が述べられ、式典参加者に対し、井戸知事から共同声明で調印された今後の交流の内容に関して報告が行われ、今後の両県地方の交流の推進を改めて相互に確認しあった。

チュドフ議長の祝辞を経て、松本副議長からは、あいさつの中で、経済交流についてさらに促進することを議会同士でも確認したとの発言があった。その後、記念レセプションが始まり、45周年を祝って談笑する参加者の姿があちらこちらに広がった。また、ロシアの伝統的な衣装に身を包んだ楽団による演奏、歌や踊りが披露され、最後は参加者も一緒になって歌い、踊り、県民一人ひとりが主役となった記念式典の舞台は、参加者の記憶に末永くとどめられることとなった。



(記念レセプションの様子)



(両県地方民による歓談)

ウ プリアムールスキー動物園訪問

- (ア) 日 時：平成26年8月19日(火) 11:10-11:50

- (イ) 場 所：ハバロフスク市内 プリアムールスキー動物園

(ウ) 参加者：

(動物園側) ドゥーリン動物園長 ほか全5名

(兵庫県側) 岡田国際局長 ほか全5名

(エ) 内 容：

野生では見られなくなった兵庫県の県鳥コウノトリの繁殖・生育のため、1985年(昭和60年)にハバロフスク地方から6羽を受贈して以来、コウノトリを介した交流を進めてきた。

今回は、井戸知事が訪問できなかったが岡田国際局長がプリアムールスキー動物園を訪問し、2012年(平成24年)に本県から寄贈した4羽(2つがい)の元気な姿を視察した。



(兵庫県から寄贈したコウノトリ)



(コウノトリの生育状況の聞き取り)

エ 少年少女交流団交流会

(ア) 日 時：平成26年8月19日（火）15:30-17:00

(イ) 場 所：校外学習センター「コンステレーション」（ラゾ地区）

(ウ) 参加者：

（ハバロフスク側）ヴォストニコワ所長 ほか全6名

（兵庫県側）西明嬉野台生涯教育センター所長、岡田国際局長、
児童・生徒（小学5年～中学3年）12名 ほか全19名

(エ) 内 容：

2006年（平成18年）にハバロフスク地方の子供たちを受入れて以来、ほぼ隔年で相互訪問を繰り返し、兵庫県からは4回目の訪問となった。事前学習を行ってロシアについて学んでやってきた児童・生徒たち12名は、ハバロフスク地方の子どもたちとのワークショップに取り組んでいた。ホームシックにかかった子どもたちも、様々な活動やハバロフスク子供たちとの交流をとおして、元気に活動していた。

コンステレーションは、7.5haの広大な敷地に様々な学習施設、サッカー場などの運動施設、宿泊施設、さらに診療所（歯科も含む）までも完備され、充実した施設でハバロフスク州の子どもたちのサマースクールとして無料で受け入れを行っている。



（少年少女交流団との記念撮影）



（児童たちによる交流の様子）

オ ニューリーダー研修修了者等との意見交換会

(ア) 日 時：平成26年8月19日（火）19:00-21:00

(イ) 場 所：ハバロフスク市内レストラン

(ウ) 参加者：

（ニューリーダー）ポストリコフ極東商工会議所会頭 ほか全12名

（兵庫県側）井戸知事、岡田国際局長 ほか全5名

(エ) 内 容：

井戸知事は、兵庫県で実施されたハバロフスク地方の若手人材の研修事業であるニューリーダー事業（※）の参加者13名と懇談した。

知事からは、ニューリーダーOB等がひょうごのファンとして、これからも双方を結び、活躍されることを期待するとのあいさつがあり、参加者を代表して初代ニューリーダーのポストリコフ会頭から、「我々は兵庫県での研修をとおして日本、兵庫県が大好きになった。」とあいさつし、今後も兵庫県での研修経験を活かして両県地方の交流の進展に役立ちたいとのコメントがあった。また参加者からは、ハバロフスク地方政府のみならず、極東商工会議所や企業など多方面で活躍しているとの近況や、現在も何らかの形で兵庫県と関係を持っていることが報告された。

兵庫県での思い出に花を咲かせた後、参加者は両県地方の人材育成事業による成果を実感し、50周年の節目となる5年後の再会を誓い合っていた。



(ニューリーダーとの再会)

※【ニューリーダー事業】

ハバロフスク地方の 21 世紀を担う若い有為の人材（ニューリーダー）を兵庫県に招聘し、兵庫県行政の研究及び生活文化の体験の機会を提供することにより、将来にわたって友好を深め、相互の新たな発展に資することを目的とした事業

カ ディナモ公園視察

(ア) 日 時：平成 26 年 8 月 20 日（水）10:30-11:00

(イ) 場 所：市内ディナモ公園

(ウ) 参加者：

(ハバロフスク地方側) バルデューク 天然資源省副大臣

クリヴォデュボヴァ国際儀典副局長 ほか全 5 名

(兵庫県側) 井戸知事、岡田国際局長、経済ミッション団 ほか約 22 名

(エ) 内 容：

兵庫県とハバロフスク地方との友好提携 40 周年を記念して、5 年前に当公園に植樹した 40 本の杉の木々の成長ぶりを確認した。

寒暖差の激しい極東シベリア地域にあってもすくすくと成長した木々の様子に、井戸知事は 5 年前、「この木が、私たちの息子や娘としてすくすくと成長していくことを期待するように、両県地方の交流もますます拡大させていきたい。」とコメントしたことを思い出し、両県地方の交流がますます伸びゆくよう思いを寄せた。



(40 周年記念の石碑と樹木)



(石碑を前に記念撮影)

キ 青少年スポーツ交流団柔道競技親善試合

(ア) 日 時：平成 26 年 8 月 20 日（水）11:00-12:00

(イ) 場 所：スポーツコンプレックス

(ウ) 参加者：

(ハバロフスク側) マリツェフ 極東ロシア柔道協会会長、チュプロフ スポーツ及び青年対策大臣（極真空手 5 段）、チクノフ副大臣、高校生

ほか約 30 名

(兵庫県側) 井戸知事、岡田国際局長、船田県教委スポーツ振興課長、

県内高校生 11 名

兵庫県議会日ロ友好訪問団、兵庫県町村会訪問団 ほか約 30 名

(エ) 内 容：

前回 40 周年訪問時の兵庫県とハバロフスク地方との共同声明に盛り込まれ、

2010年(平成22年)から実施している青少年スポーツ交流も、今回で5回目の交流となった。

成田空港では、知事から選手一人ひとりに激励の言葉をかけ、選手らは、兵庫県選抜選手としての誇りを持って正々堂々とハバロフスクの選手団に挑むことを誓った。

過去2回の訪問時には、バレーボール、バスケットボールとチーム競技であったが、今年は日露武道交流年で、その記念事業に認定された柔道競技での交流が行われた。団体戦は10試合全て一本勝ちで兵庫チームが勝利した。

激しい闘いを繰り広げた試合を終えた両県地域の高校生たちは、同世代からかすぐに意気投合し、あちらこちらで会話に花を咲かせるなど、若者による交流のすがすがしさを感じさせた。

高校生の闘いに声援を送り続けた井戸知事からは、2020年には東京でオリンピックが、その翌年2021年には兵庫県を含む関西地方で、ワールドマスターズゲームズという生涯スポーツの国際総合競技大会が開催されるので、またそうした舞台でみなさんが再会されることを期待していると、選手たちにエールを送った。



(両団のあいさつ)



(参加者による記念撮影)

ク フェドソフ ハバロフスク地方政府文化大臣との情報交換会

(ア) 日 時：平成26年8月20日(水) 12:30-14:00

(イ) 場 所：ハバロフスク市内レストラン

(ウ) 参加者：

(ハバロフスク側) フェドソフ文化担当大臣 ほかに全3名

(兵庫県側) 井戸知事、岡田国際局長 ほかに全5名

(エ) 内 容：

ハバロフスク地方との文化交流を促進するため、フェドソフ文化担当大臣と情報交換を行った。フェドソフ大臣からは、両地域の交流を進めるにあたっては、政治や経済の交流でなく、文化の交流が何よりも大切な基盤であると考えている、とのあいさつがあり、井戸知事からも、今回も兵庫県から参加している県民交流団のような草の根の幅広い文化の交流が両地域の交流を支える礎となっている、とコメントした。

同大臣からは、毎年ハバロフスク地方で開催している「日本文化祭」や「軍などの楽隊による音楽祭」へ、兵庫県からの参加を依頼され、井戸知事は、淡路の人形浄瑠璃などの参加を検討したいと述べた。



(フェドソフ大臣との撮影)



(参加者による記念撮影)

(4) ひょうご経済セミナーの実施（プレゼンテーション資料 別添2）

ア 沿海地方におけるセミナーの実施

(ア) 日 時：平成26年8月18日（月）10:30-13:30

(イ) 場 所：ウラジオストク日本センター

(ウ) 参加者：

（沿海地方側）ブレジネフ沿海地方商工会議所会頭、ドゥビーニン沿海地方政府経済戦略発展部長 ほか全39名

（兵庫県側）藤浪経済ミッション団団長、岡田国際局長、
経済ミッション団員 ほか全20名

《参加兵庫県企業》昭和精機㈱、大東精機㈱、浜田化学㈱、川崎重工業㈱、㈱神戸製鋼所、三和鉄工㈱、㈱シマヤ、㈱三井住友銀行、㈱竹本トレーディング、谷商㈱、（公財）ひょうご産業活性化センター

(エ) 内 容：

沿海地方との経済交流を促進するため、兵庫県関係企業が参加した経済ミッション団によるひょうご経済セミナーを開催した。

井戸知事が参加できなかったため、岡田国際局長が兵庫の地域・産業等をパワーポイントで紹介。兵庫県経済ミッション参加企業が事業内容やロシアとの関わり等についてプレゼンテーションを行った後、現地参加者と活発な意見交換がなされた。



（兵庫県関係者からの説明）



（熱心に聞き入る参加者）

(オ) 極東電力熱併給発電所視察

2012年（平成24年）にAPECが開催されたルースキー島の極東電力熱併給発電所を訪問し、川崎重工業が明石工場にて製造し、納入したガスタービン発電装置などを視察した。経済ミッション団に同行した川崎重工業マーケティング本部海外統括本部土井基幹職より、ガスタービンのしくみや極東地域におけるビジネス動向などについて説明があった。ロシアは世界最大の天然ガス産出国であり、天然ガスを燃料とする高効率・低環境負荷の熱電併給設備の需要が極東地域で拡大している。



（熱併給発電所の視察）



（ガスタービン設備の説明）

イ ハバロフスク地方におけるセミナーの実施

(ア) 日 時：平成26年8月20日（水）14:30-17:30

(イ) 場 所：ハバロフスク日本センター

(ウ) 参加者：

（ハバロフスク地方側）ポストリコフ極東商工会議所会頭、ビクトリア・ハバロフスク地方政府観光局副局长 ほか全28名

（兵庫県側）井戸知事、藤浪経済ミッション団団長、岡田国際局長、経済ミッション団員 ほか全22名

《参加兵庫県企業》昭和精機㈱、大東精機㈱、浜田化学㈱、川崎重工業㈱、㈱神戸製鋼所、三和鉄工㈱、㈱シマヤ、㈱三井住友銀行、㈱竹本トレーディング、谷商㈱、（公財）ひょうご産業活性化センター

(エ) 内 容：

ハバロフスク地方との経済交流を促進するため、兵庫県関係企業が参加した経済ミッション団によるひょうご経済セミナーを開催した。

ポストリコフ極東商工会議所会頭からは、歓迎のあいさつとともに兵庫県経済ミッション参加企業とのさらなる経済交流に向けて期待が述べられた。

続いて井戸知事からは、兵庫県の概要、産業・経済面での本県の優位性、投資環境などを紹介したほか、ハバロフスク地方側が興味を持つ核医学等、医療分野に関するプレゼンテーションを行った。



（井戸知事によるプレゼンテーション）



（経済セミナー・交流会の様子）

(5) 日本人墓地墓参

(ア) 日 時：平成26年8月21日（木）6:15-6:30

(イ) 場 所：ハバロフスク市郊外日本人墓地

(ウ) 参加者：井戸知事、岡田国際局長ほか

(エ) 内 容：

知事を代表とする友好代表団が、帰国当日、ハバロフスク郊外の日本人墓地を訪れ、シベリア抑留によりハバロフスク周辺で亡くなられた日本人に対し献花と墓参を行った。

墓参では、井戸知事が白菊の献花と淡路産お線香をお供えし、ご冥福をお祈りした。ハバロフスク日本人墓地には、9名の兵庫県出身者が眠っており、代表団は礼拝の後、兵庫県出身者の墓を探し出しては手を合わせていた。

（問い合わせ先）

産業労働部国際局国際交流課交流企画班交流推進担当

TEL：078-362-9017

兵庫県・ハバロフスク地方友好提携45周年記念共同声明

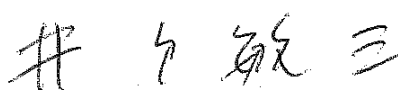
別添1

日本国兵庫県とロシア連邦ハバロフスク地方との友好提携45周年を記念して、井戸敏三兵庫県知事及びヴァチェスラフ・I・シュポルト ハバロフスク地方知事が2014年8月20日に、ハバロフスク市において会見し、1969年4月に両県地方首脳が調印した共同声明に基づく友好提携の成果を確かめ合うとともに、今後の両県地方の友好提携関係を一層進めるために意見を交換した。

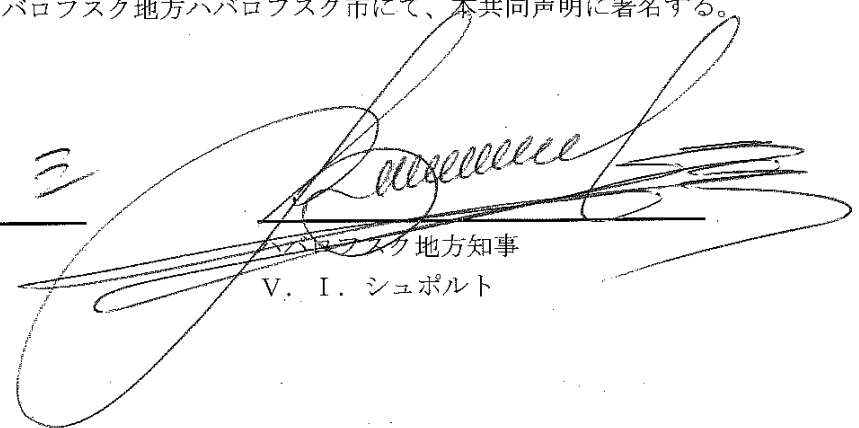
兵庫県とハバロフスク地方は、友好訪問団や文化・経済・青少年交流団の相互派遣、北東アジア地域自治体連合の取り組みの推進、ハバロフスク地方からの研修員の受け入れによる課題解決に向けた人材の育成、兵庫県コウノトリ保護増殖事業によるコウノトリ増殖への協力、これら45年間の長きにわたる継続的かつ着実な交流の成果を踏まえて、互いに協力することに合意した。

- (1) 両県地方は、両地域のさらなる経済発展に向けて、それぞれの経済界とも協力し、交易・投資の拡大による経済交流の増進に努める。また農業分野での協力とあわせ、ハバロフスク地方の社会資本整備に向け、兵庫県関連企業の活動を促進する。
- (2) 兵庫県は、次代の両地域の交流と発展を担い、課題解決に取り組む人材の育成に向けてハバロフスク地方から海外研修員の受け入れを行う。
- (3) 両県地方は、HUMAPの交流枠組等を活用した大学生の学術・研究などの相互交流活動を支援する。
- (4) 両県地方はコウノトリの保護増殖事業の相互支援・協力を一層促進する。本合意に基づき、両県地方が寄贈したコウノトリの増殖を推進するとともに、人と自然が共生する環境づくりに努める。
- (5) 両県地方は、青少年交流のさらなる発展に尽力し、教育、スポーツや文化を通じて世界で活躍できる人材の育成に努める。
- (6) 両県地方は、北東アジア地域自治体連合のさらなる発展を図り、地域間の交流活動促進に努めるとともに、防災や環境など、地球規模の諸課題の解決に向けて協力する。
- (7) 両県地方は、両地域の住民と経済界が相互訪問する機会の拡大に努めるとともに、引き続き関西国際空港とハバロフスク間の航空便の開設に努力する。
- (8) 両県地方は、医療技術の発展を目指し、人材育成や技術交流など、包括的に協力する。

2014年8月20日、ハバロフスク地方ハバロフスク市にて、本共同声明に署名する。



兵庫県知事
井戸敏三



ハバロフスク地方知事
V. I. シュポルト

ひょうご経済セミナー

～ロシア極東地域との貿易・投資促進を目指して～



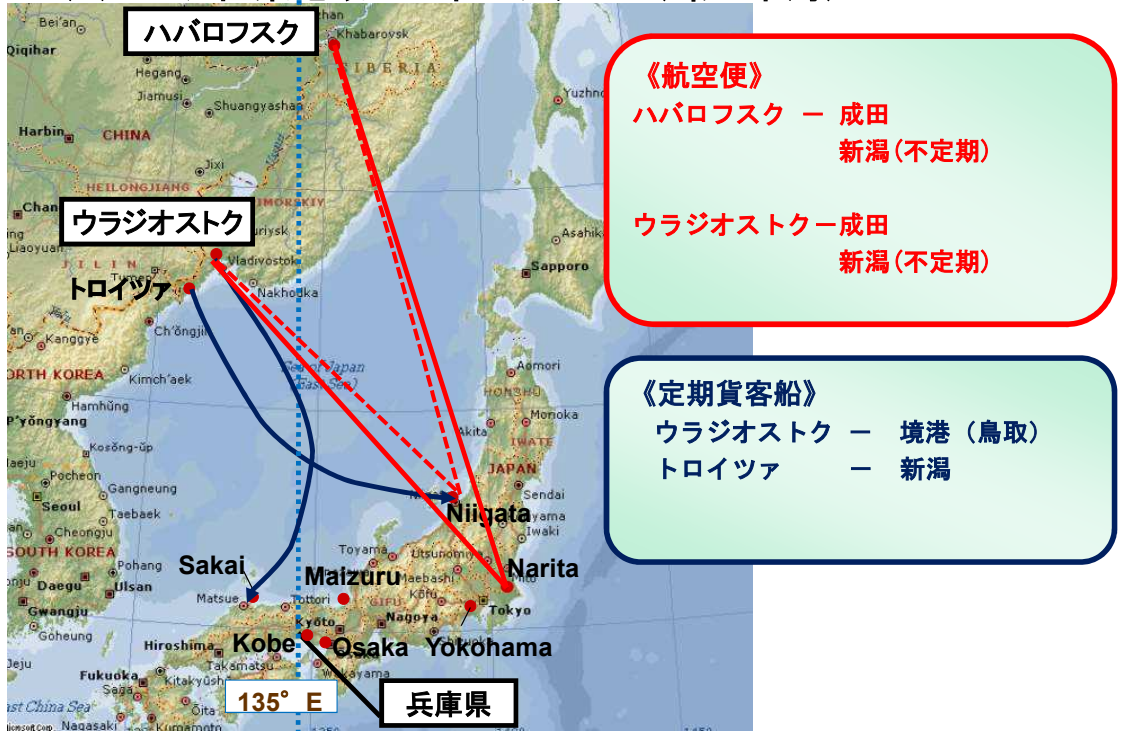
2014.8.20 Hyogo Prefecture

目次

- 1 兵庫の概要
 - (1)ロシア極東地域と日本のアクセス
 - (2)日本の縮図「兵庫県」
 - (3)充実した社会基盤による良好な物流環境
- 2 ハバロフスク地方と兵庫県の交流概要
- 3 兵庫県の強み
 - (1)ものづくり産業の厚み
 - (2)世界に誇る最先端の科学技術基盤
 - (3)地域の特性を生かした大学の集積
- 4 優れた投資環境による外資系企業の進出
- 5 拡大するロシアと兵庫県の貿易
- 6 兵庫県とロシア・世界をつなぐ窓口
- 7 外国人観光客を惹きつける兵庫県の魅力

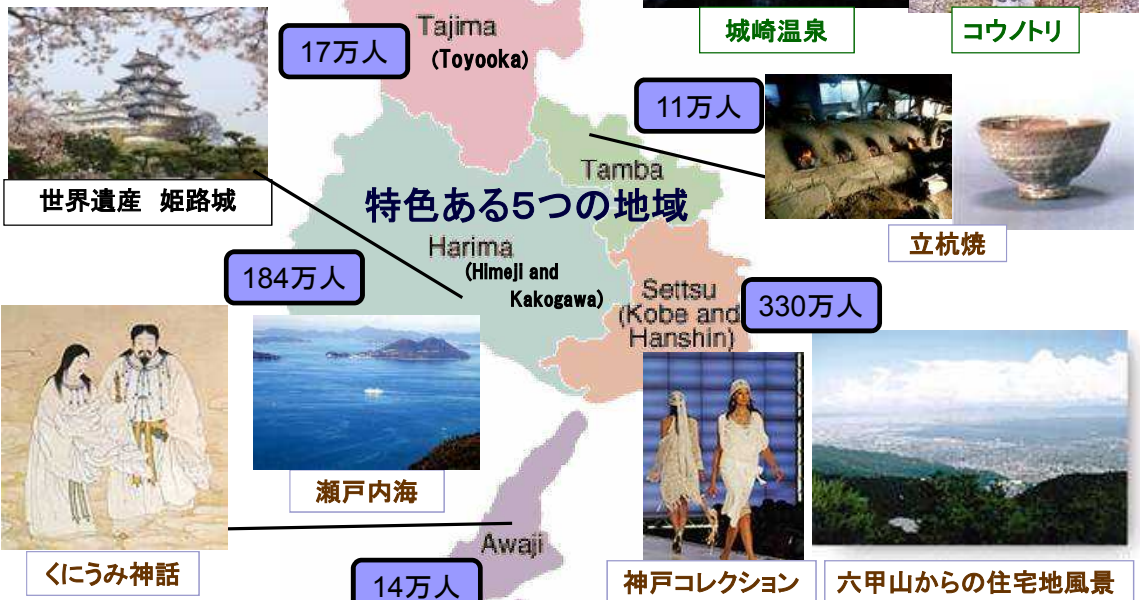
1 兵庫の概要

(1)ロシア極東地域と日本のアクセス(環日本海)



(2)日本の縮図「兵庫県」

人口	556万人	全国7位
面積	8,396km ²	全国12位



(3) 充実した社会基盤による良好な物流環境



2 ハバロフスク地方と兵庫県の交流概要

■ 友好提携の経緯



1969年4月18日 「共同声明」

※ソ連の地方政府との友好提携は日本の都道府県で最初

1966年、ハバロフスクで開かれた第1回日本沿岸貿易見本市に兵庫県企業が出品。このとき、兵庫県副知事が訪問したのが契機。

■ 交流の実績

◆ コウノトリを通じた協力と成果

- ・1985年以降、ハバロフスク地方からコウノトリ計12羽を受贈
- ・繁殖に成功し、兵庫県豊岡市のコウノトリの郷公園で現在100羽以上を飼育
- ・兵庫県とハバロフスク地方の友好交流事業が日本の国務大臣賞を受賞(2008年)
- ・2012年兵庫県のコウノトリ4羽をハバロフスクへ寄贈

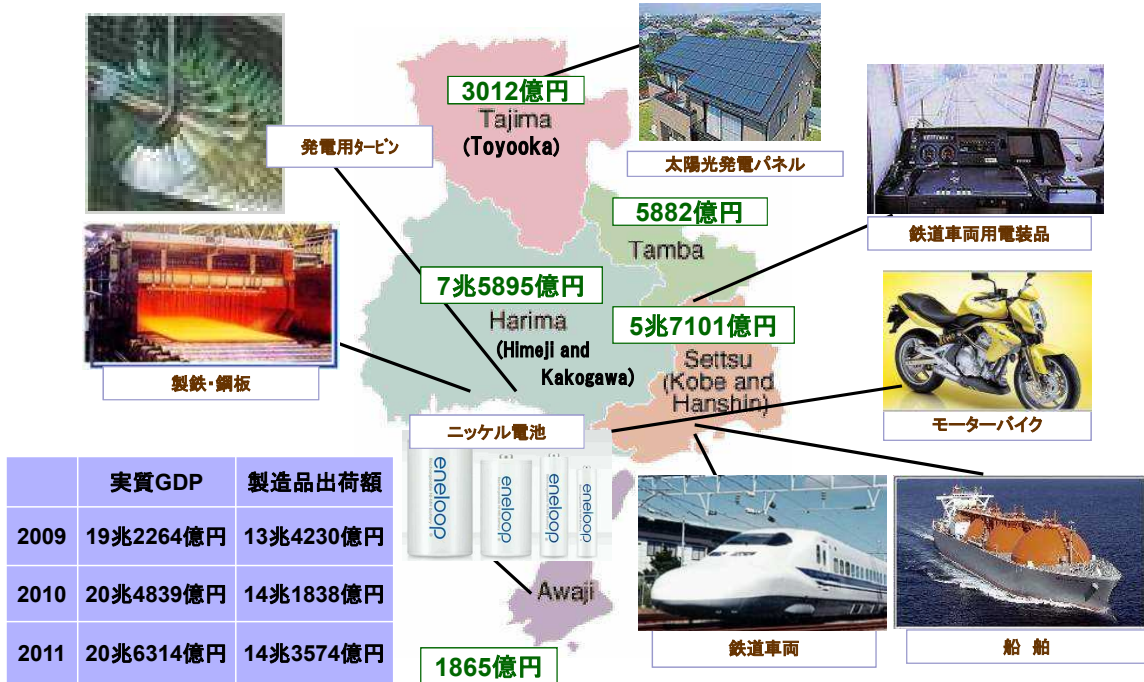


- ◆ 友好訪問団や文化・経済・青少年交流団の相互派遣
- ◆ ハバロフスク地方政府職員ニューリーダーの受入
- ◆ ハバロフスク地方からの技術研究員の受入
- ◆ 非常時における相互協力



3 兵庫県の強み (1)ものづくり産業の厚み

・製造品出荷額は約14兆3574億円、全国シェア5.0%(全国5位) (平成24年工業統計表)



(2)世界に誇る最先端の科学技術基盤

ア 大型放射光施設「SPring-8」

1997年10月供用開始

- ・世界最高性能の放射光を用いてナノテクノロジー、バイオテクノロジーや産業利用まで幅広い研究に利用

イ X線自由電子レーザー施設「SACLA」

2012年3月供用開始

- ・X線自由電子レーザーで世界最短波長のX線レーザーの発振に成功
- ・極めて短い時間に起こる反応の観察や、新素材の研究開発等が可能

ウ 県立大学高度産業科学技術研究所「ニュースパル」

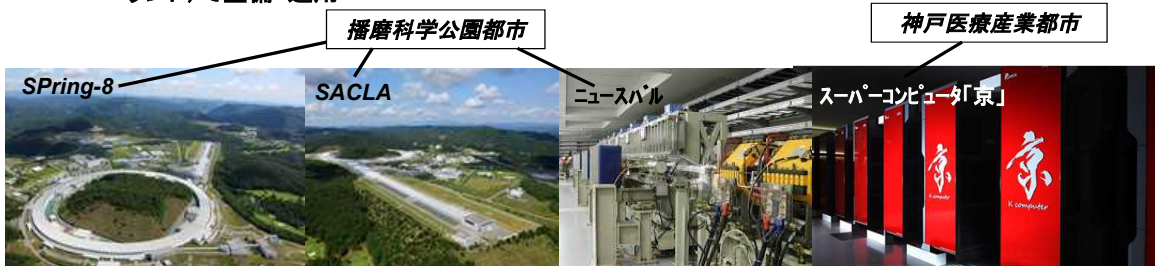
2000年供用開始

- ・中型放射光施設で、光源の研究開発、微細加工、材料創製・評価などの産業応用研究、技術開発に利用

エ スーパーコンピュータ「京」

2012年9月供用開始

- ・理化学研究所が超高速計算機システムを「国家基幹技術」の一つとして神戸(ポートアイランド)で整備・運用



オ 神戸医療産業都市

・京阪神の産学官連携によるライフサイエンス産業の集積中核施設として
 「臨床情報研究センター」
 「発生・再生科学総合研究センター」 など17のクラスター拠点



臨床情報研究センター(TRI)



ライフサイエンス技術基盤研究センター(GLST)

発生・再生科学総合研究センター(ODB)



- 企業の研究施設等
- ・日本ベーリンガーインゲルハイム(独)
(医薬品の研究開発)
 - ・ジョンソン・エンド・ジョンソン(米)
(手術・治療用機器の評価・改良)
 - ・GEヘルスケア・ジャパン(米)
(医用画像診断装置の開発・製造・輸出・輸入等)
 - ・オリンパス(日)(医療機器・再生医療)

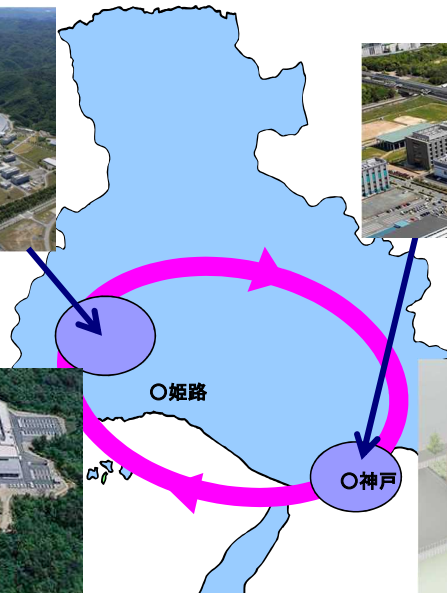
・最高レベルの研究機関、医療関連企業276社・団体が進出
 (うち外国・外資系企業26社) [2014年6月末現在]

世界最先端の科学技術基盤により、新産業、新技術の創出、企業との連携に期待

兵庫県の2大知的創造拠点の連携による イノベーションの創造と高度先端医療の提供



播磨科学公園都市
 光科学の世界的な研究拠点



神戸医療産業都市
 国際的なライフサイエンスの研究



・兵庫県立粒子線医療センター
 ・株式会社ひょうご粒子線メディカルサポート
 粒子線医療の国内外における普及発展に寄与



・兵庫県立こども病院
 粒子線治療のノウハウを活かした小児がんの治療等の高度専門医療を提供

関西圏国家戦略特区

中山間農業改革特区

養父市

神戸医療産業都市

京都

国立循環器病研究センター

1 高度医療を提供する医療機関・研究機関・メーカー等の集積

2 先端的な医薬品、医療機器等の研究開発の阻害要因の撤廃、シーズの円滑な事業化・海外展開

3 チャレンジングな人材の集まる都市環境、雇用関係の整備

兵庫

大阪大学医学部付属病院

大阪市

発生・再生科学総合研究センター

- ・再生医療等高度な先端医療の提供
- ・革新的医薬品、医療機器等の開発
- ・国際ビジネス拠点の形成に資する建築物の整備

兵庫県立こども病院

(3) 地域の特性を生かした大学の集積

- ・神戸大学、兵庫県立大学をはじめ、41の大学が立地(全国第4位)
- ・留学生(大学・大学院・短期大学・高等専門学校等)の数は約5,100人(全国第8位)

【留学生を100人以上受け入れている県内大学の留学生数】

大学名	学部学生	大学院学生	研究生等	留学生計
神戸大学	107	720	328	1,155
関西学院大学	462	124	117	703
流通科学大学	367	41	50	458
神戸国際大学	282		79	361
兵庫県立大学	59	97	20	176
姫路獨協大学	152	12	10	174
芦屋大学	100	1	2	103



神戸大学



兵庫県立大学



関西学院大学

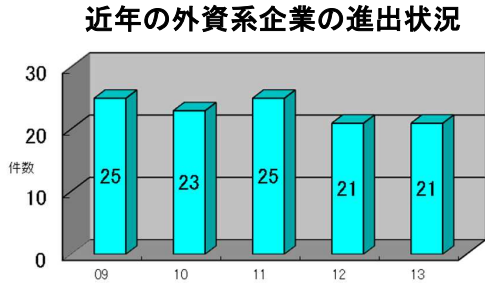


神戸国際大学



流通科学大学

4 優れた投資環境による外資系企業の進出



1998年以降 **約350社** が進出

(兵庫県国際経済課調べ)

外資系企業の県別本社所在地数

	都道府県名	外資系企業 本社数	全国比(%)
1	東京	2,376	76.5
2	神奈川	263	8.5
3	大阪	119	3.8
4	兵庫	76	2.4
5	千葉	48	1.5
	その他	225	7.2
	合計	3,107	100

(東洋経済新報社「外資系企業総覧2014」より)

近年の主な進出企業

コストコホールセール ジャパン(株) アメリカ 2014年

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン(株) フランス 2012年

ユミコジャパン(株) ベルギー 2011年

イケア・ジャパン(株) スウェーデン 2008年

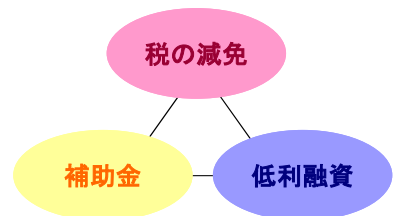


・国際経済拠点地区の形成

外国・外資系企業が、活発にビジネス活動を展開できるよう、県独自の優遇制度により、進出支援



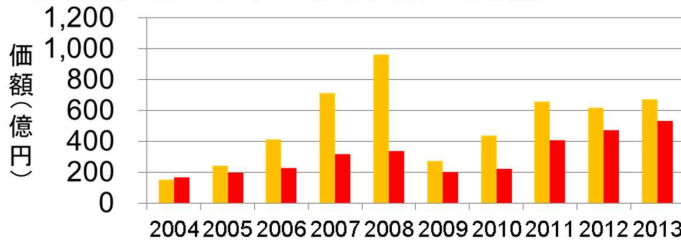
「産業集積条例」による
産業立地制度



・国際経済拠点地区の優遇措置

税の減免	<ul style="list-style-type: none"> 不動産取得税: 1/2軽減 限度額2億円
補助金	<ul style="list-style-type: none"> 設備投資補助 補助率: 投資額(土地を除く)の3%以内、限度額: 上限なし 要件: 先端技術型事業に係る設備投資額(土地を除く)が20億円以上 研究開発型企业向け設備投資補助 補助率: 3%以内、限度額: 上限なし 補助要件: 設備投資額(土地を除く)が5億円以上 エネルギー対策設備に対する補助 補助率: 対象経費の1/2、限度額: 3億円 要件: 投資額(土地を除く)5千万円以上 雇用補助 新規地元雇用者に対する補助: 30万円/人、限度額: 3億円 要件: 新規地元雇用者11人以上 土地を取得又は賃借する場合は投資額(土地を除く)5千万円以上 オフィス賃料補助 補助率: 1/2以内、補助額: 1,500/m²・月 限度額: 200万円/年、期間: 3年間以内
低利融資	<ul style="list-style-type: none"> 進出貸付 年利1.00%、限度額: 100億円、期間: 15年以内 要件: 地元雇用者11人以上

5 拡大するロシアと兵庫県の貿易



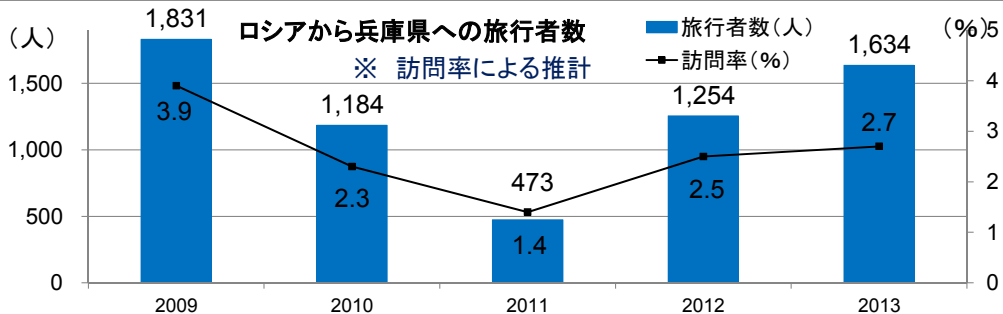
建設用機械

■ 兵庫県からの輸出
■ 兵庫県への輸入

主要輸出品目: 建設用・鉱山用機械(27%)、自動車(9%)、荷役機械(7%)
 主要輸入品目: 鉄鉱石(39%)、石炭(31%)、天然ガス(11%)

兵庫県の貿易におけるロシアのシェア(2013)
 輸出1.1% 輸入1.4%

→更なる貿易拡大の可能性



6 兵庫県とロシア・世界をつなぐ窓口

ひょうご・神戸国際ビジネススクエア（神戸商工貿易センタービル内）

ひょうご海外ビジネスセンター(HIBC)
<http://www.hyogo-kobe.jp/hibc/>

ひょうご・神戸投資サポートセンター(HKIS)
<http://www.hyogo-kobe.jp/his/>

神戸市アジア進出支援センター(KABSC)
<http://www.city-kobe-asiabiz.com/>

ジェトロ対日投資・ビジネスサポートセンター神戸(IBSC神戸)
<http://www.jetro.go.jp/invest/ibsc/locations/>

ワンストップサービス



ビジネスサポートセンター・東京
<http://www.hyogo-kobe.jp/his/profile.html>
場所：都道府県会館内(東京都千代田区)

世界に広がる兵庫県とのネットワーク



友好・姉妹提携先

※世界各地で県人会ネットワークも形成

- ハバロフスク地方(ロシア)
- ワシントン州(アメリカ)
- パラナ州(ブラジル)
- 広東省・海南省(中国)
- 西オーストラリア州(オーストラリア)
- パラオ共和国

7 外国人観光客を惹きつける兵庫県の魅力



神戸ビーフ



神戸スイーツ

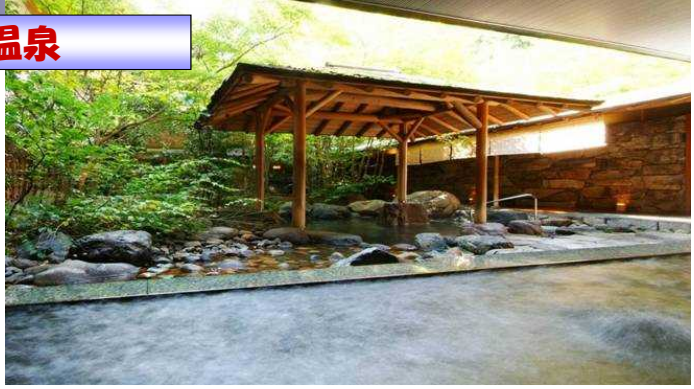


灘の日本酒





城崎温泉



有馬温泉

ご清聴ありがとうございます



Yes I DO!!